

群馬県 前橋市



コンペティション
特設HP

前橋クリエイティブシティ

県庁-前橋駅都市空間デザイン 国際コンペティション

群馬から世界に誇れるクリエイティブシティの発信



Introduction

1

Project

2

Challenges

3

Introduction

はじめに

GUNMA PREFECTURAL OFFICE



INTRODUCTION

群馬県前橋市の中心市街地は、社会経済状況の変化とともに、人通りが疎らで閑散としているなど、賑わいの少ない状況となっている。

この現状を改善するため、前橋市は文化芸術交流の促進、職住近接性の向上、経済活力の強化、デザイン力を高めることを基本方針とし、官民連携による持続可能なまちづくりを推進している。

また、日本のまちづくりでは行政主導が多い中、民間主導の創造的なまちづくりによって、老舗旅館のリノベーションやクリエイティブな拠点の建設、小河川の改修による賑わい空間の創出など、中心市街地は徐々に活気を取り戻している。

しかしながら、県庁から前橋駅に至るメインストリートは、人通りが少なく、賑わいに欠ける、その理由の一つでもある変則五差路の本町二丁目五差路交差点では通行者にとって利用しづらいなどの課題が残ったままである。

また、このメインストリートでは、自動運転レベル4に向けた取り組みが進行中であり、県内では新たなモビリティサービス「GunMaaS」がスタートしており、交通環境の変化にも対応していく必要がある。

今後、これらの課題に個々に対処すると、統一感が失われ、魅力に欠ける都市空間が形成される可能性があることから、一体的な課題解決を図るための「トータルデザイン」が重要である。

このため、現在進行中の民間主導の中心市街地活性化の取組を活かし、これを、行政の力強い後押しによって、さらに強化することを目的として、本デザインコンペでは未来を指向する都市空間デザインの提案を求める。

この都市空間デザインでは、メインストリートを公共交通と人中心のウォークラブルな道路空間に変貌させ、賑わいとふれあいを創出し、将来に向けて住民や訪問者が夢や希望を抱き続けることができるよう、群馬県らしい独自の価値を創造することを目指す。

策定された都市空間デザインは、道路を管理する国、県、市が、地域の皆さまと連携し、磨きをかけ、実現することで、世界に誇れる持続的な県都の発展につながるものである。



群馬県前橋市

群馬県前橋市

本コンペの対象となるメインストリート





Introduction

Background of Maebashi City

前橋市の背景・歴史

GUNMA PREFECTURAL OFFICE





前橋市の背景

多様な自然に囲まれた前橋市は、その豊かな自然と文化遺産から「水と緑と詩のまち」として知られています。休火山である赤城山を背景にしたこの街は、自然愛好家に人気の観光地であり、日本有数の長さ歴史を誇る利根川を含む2つの川が市内を流れています。

文化面でも、前橋は近代自由詩で知られる萩原朔太郎をはじめとする著名な歌人の出身地として、強い文学的基盤を誇っています。その他にも、前橋はかつて日本の産業革命の重要な担い手であり、1800年代後半にはシルクロードの拠点のひとつでした。



前橋市の背景

日本の他の多くの地方小都市と同様、前橋市もここ数十年で人口危機に直面しています。多くの若者がより良い仕事の機会を求めて大都市への移住を選択し、その結果、全体的な高齢化が進んでいます。

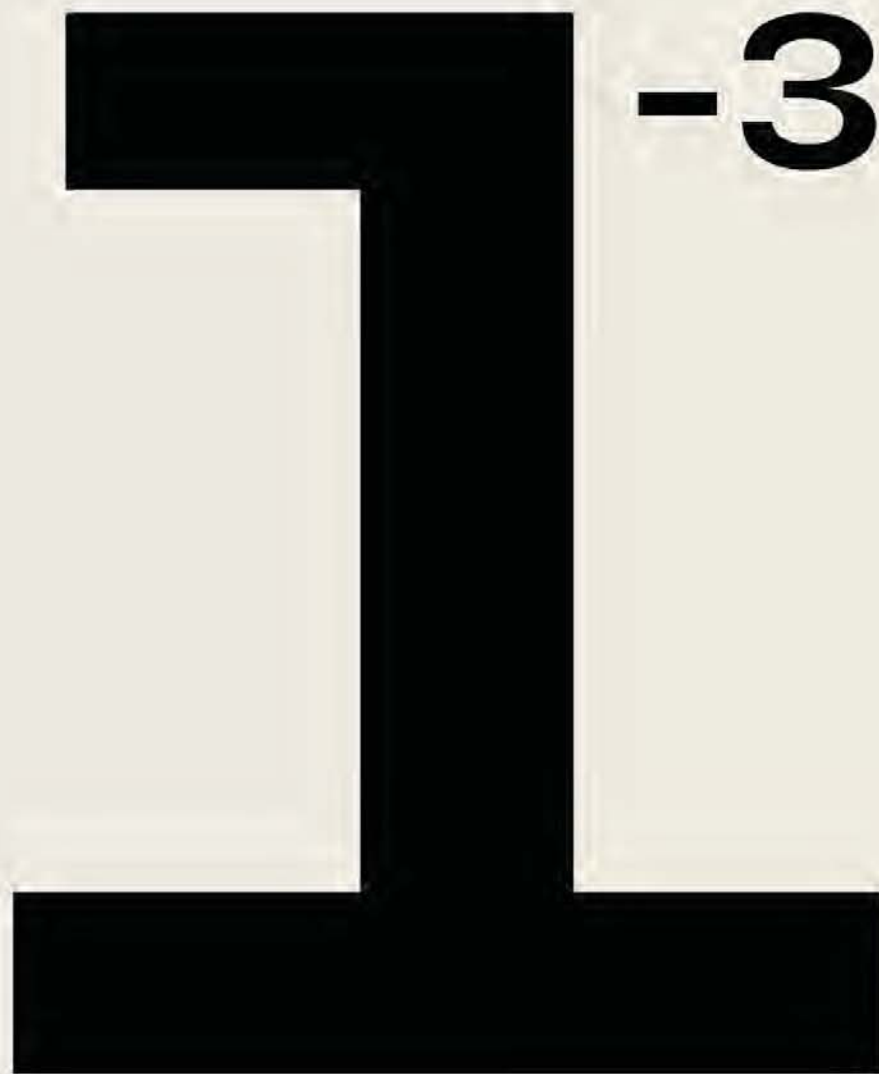
現在、前橋市は、その小さな都市特有の魅力をさらに広げながら、自然と快適な都市の両方へのアクセスが容易な、新進気鋭のアートの拠点としての地位を確立しようとしています。

Introduction

Revival efforts

まちづくりに関する現在の取り組み

GUNMA PREFECTURAL OFFICE



REVIVAL EFFORTS

前橋市は近年、官民パートナーシップによる持続可能な都市開発を推進し、市内での文化芸術交流を強化することに注力しています。

前橋市は、住民の幸福を大切にしながらも、県外からの観光客にとっても魅力的な芸術と文化の拠点として確立することを目指しています。




EFFORTS TO REVITALIZE THE MAIN STREET

1

前橋中央通り商店街 “ROSE AVENUE”



中心市街地は人通りが疎らで閑散としているなど、賑わいが少ない状況が続いていましたが、移住者の働くところと一緒に探してくれる「マチスタント」や、「前橋めぶくフェス」「前橋BOOK FES」など民間の活力あるイベントや取組により、商店街に店舗が増えており、徐々に元気を取り戻してきています。


 WEBSITE

2

白井屋ホテル



白井屋は約300年続いた歴史ある宿でした。市街地の衰退により2008年に廃業し、建物の取壊しが計画されたが、民間活力による改修及び新棟の建設を経て、2020年に白井屋ホテルとして生まれ変わりました。米国の有名インテリア専門紙が世界中の優れたホテルを選出する「2021 AD Great Design Hotel Award」などを受賞しました。

 WEBSITE

3

前橋ギャラリー



アートとデザインによる地域活性化を目的としたアートギャラリーとレストラン、住居が一体となった複合施設。2023年5月にオープンしました。

 WEBSITE

Introduction

Sustainable Urban Development

官民連携による持続的なまちづくり

GUNMA PREFECTURAL OFFICE

-4

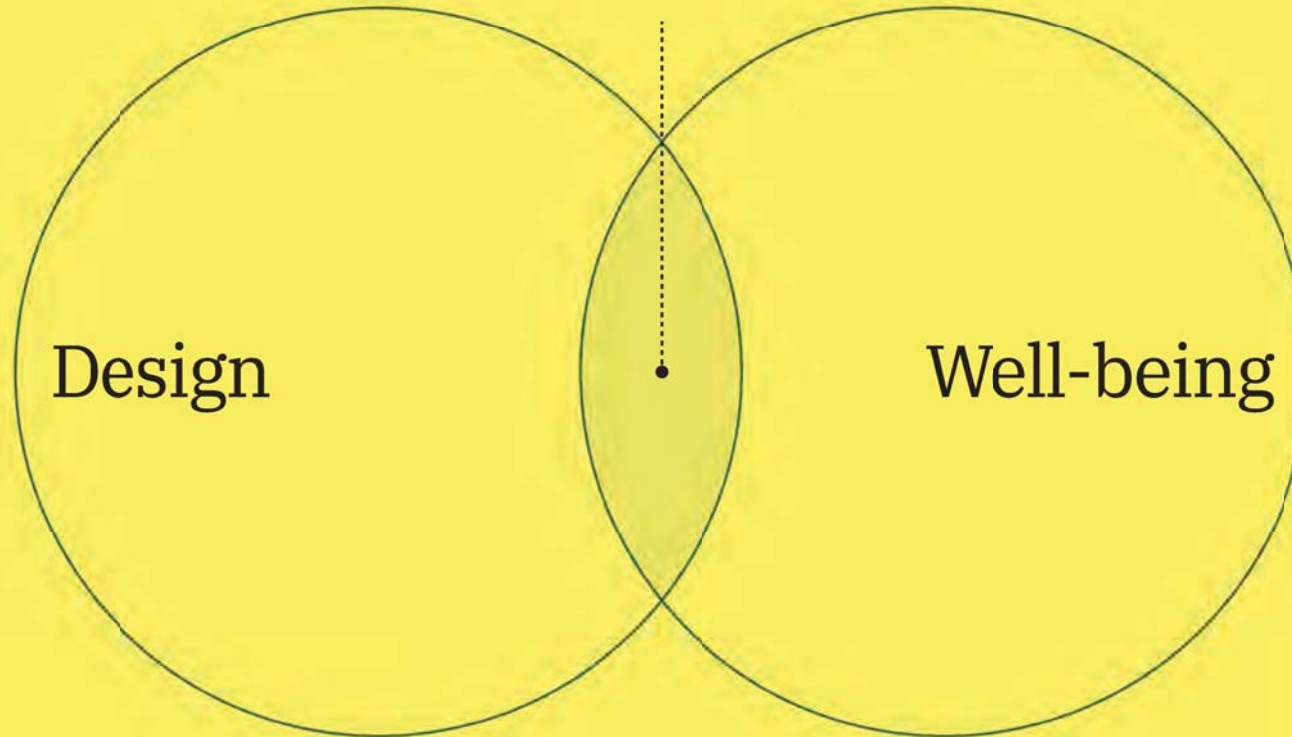
SUSTAINABLE URBAN DEVELOPMENT



前橋市は、官民パートナーシップを通じて、中心市街地全体の活気を向上させるプロジェクトの発足・支援をすることで、創造的で発見や気づきに溢れ、共感できるライフスタイルとコミュニティがある暮らしを想像しています。

前橋市のコンセプト

“めぶく”



前橋市は戦略的にまちづくりを進めるために、良いものが育つ場所“めぶく”（Where good things grow）というコンセプトを策定しました。このコンセプトをもとに、前橋市は革新的で安心して快適な都市生活をデザイン主導で築きたいと考えています。

Project

プロジェクトについて

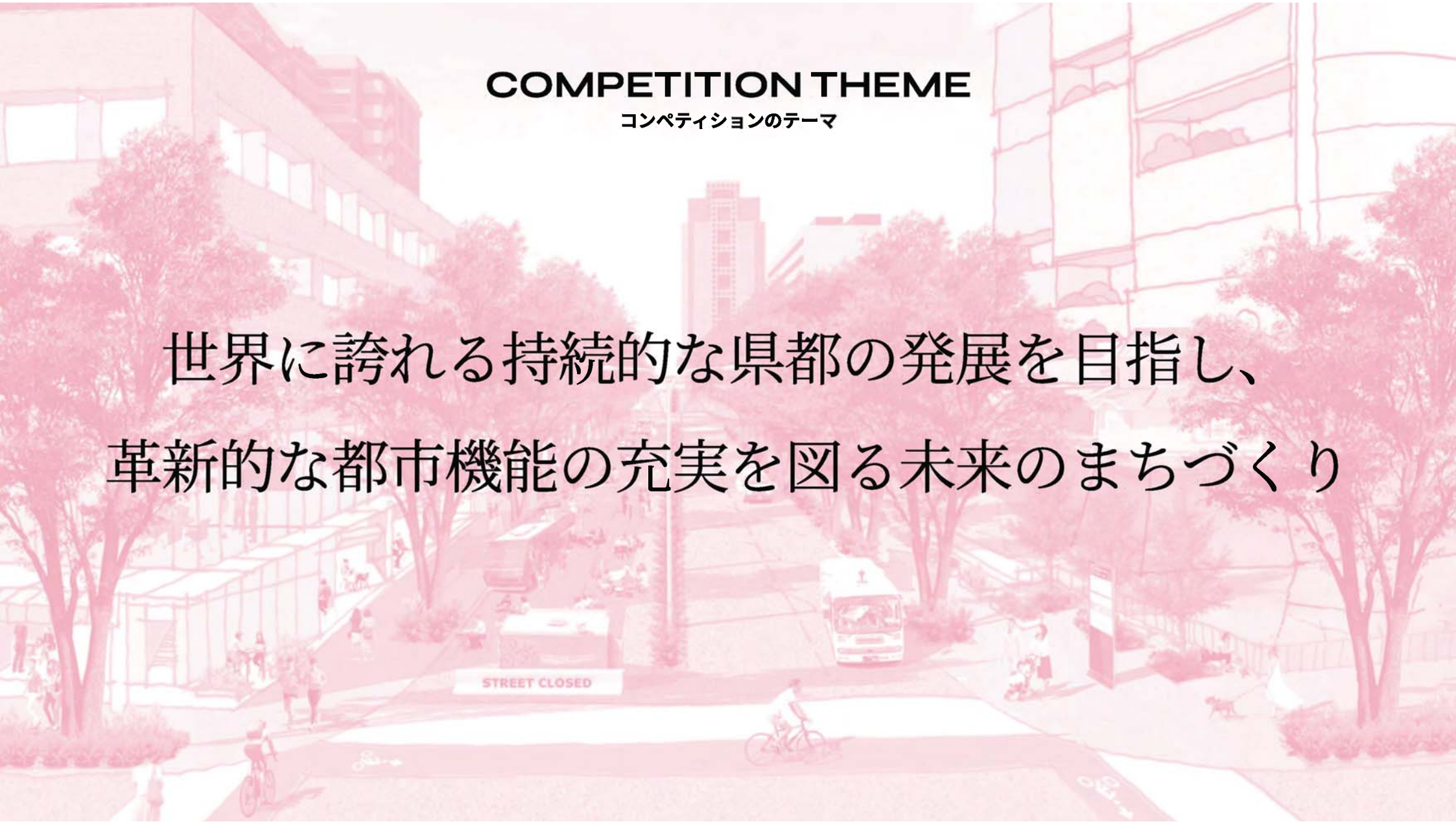
GUNMA PREFECTURAL OFFICE



COMPETITION THEME

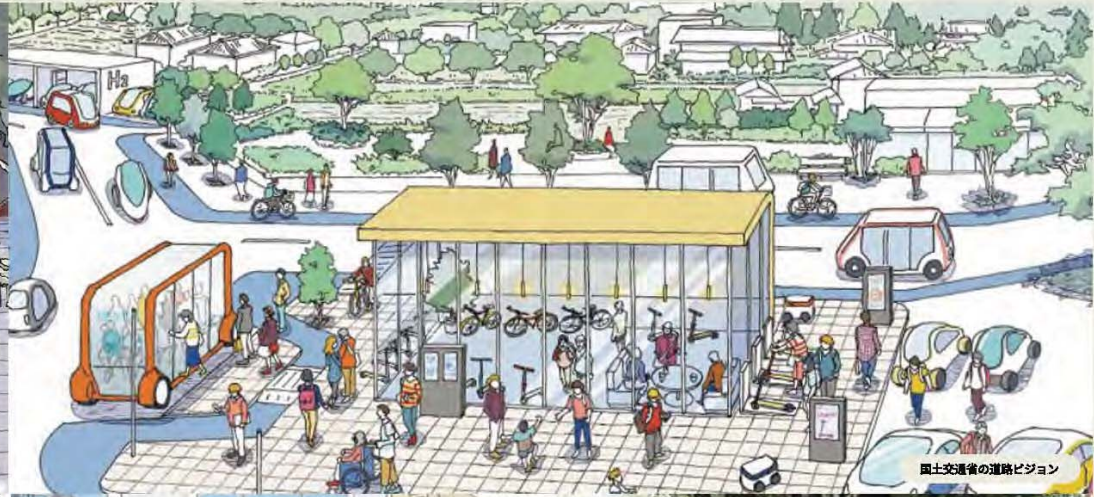
コンペティションのテーマ

世界に誇れる持続的な県都の発展を目指し、
革新的な都市機能の充実を図る未来のまちづくり



COMPETITION PURPOSE

前橋市は、革新的で創造的な都市に再開発し、未来志向のインフラと住民の幸福を最優先に考えることを目指しています。群馬県は、これを後押しするためにこのコンペティションを開催し、歩行者と公共交通を中心としたウォークブルな道路空間の実現を目指しています。以下のイメージは、前橋市が目指す都市の参考となるいくつかのアイデアです。



The five Pillars

まちづくりに必要な5つの方針

前橋市は、以下の5つの方針を基に都市再開発を進めています。コンペの応募者は、これらの方針を参考にし、デザインに取り入れることが求められます。

1

魅力的な都市景観

活気と賑わいのあるストリートや公共空間づくりに市民を参画させることで、魅力的な都市景観の創造を目指します。





2

安全で快適な生活環境

都市計画や再開発への住民の積極的な関与を通じて、住民の安全性と快適性を優先させて幸福感を高めることを目指します。

3

ブランド価値と経済活力

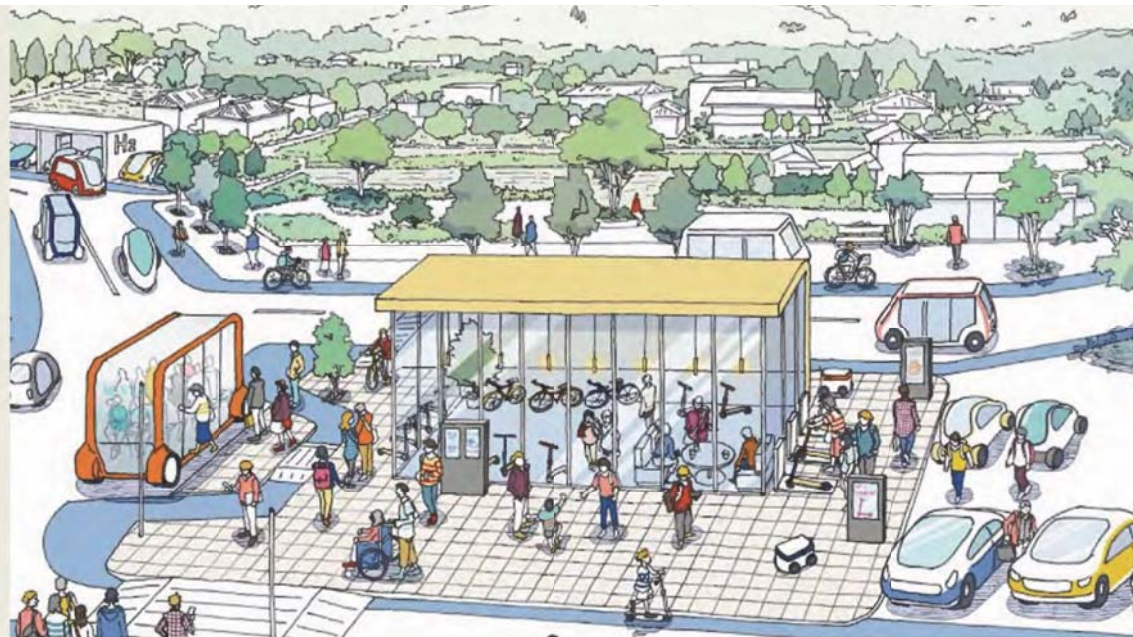
都市のブランド価値を高め、経済成長を促進するため、主要地域にビジネスを集中させることを目指します。



4

文化を反映した 魅力的な空間

前橋のユニークな文化的アイデンティティを公共空間に反映し、独自の魅力豊かな街にすることを目指します。



5

持続可能な都市機能

持続可能で利便性の高い都市開発を支えるために、公共交通機関と交通インフラの改善を行うことを目指します。

Project

Design References

デザインリファレンス

GUNMA PREFECTURAL OFFICE



DESIGN REFERENCES

私たちは本プロジェクトのデザイン方針を定めるために、The Goods LineとThe High Lineの2つの事例を参考にしています。次のスライドでは、前のセクションで述べた5つの方針と関連し、前橋市が今後の都市開発で導入を検討しているポイントをまとめています。

DESIGN REFERENCES 1



The Goods Line
(Sydney, Australia)

DESIGN REFERENCES 2



The High Line
(New York City, USA)

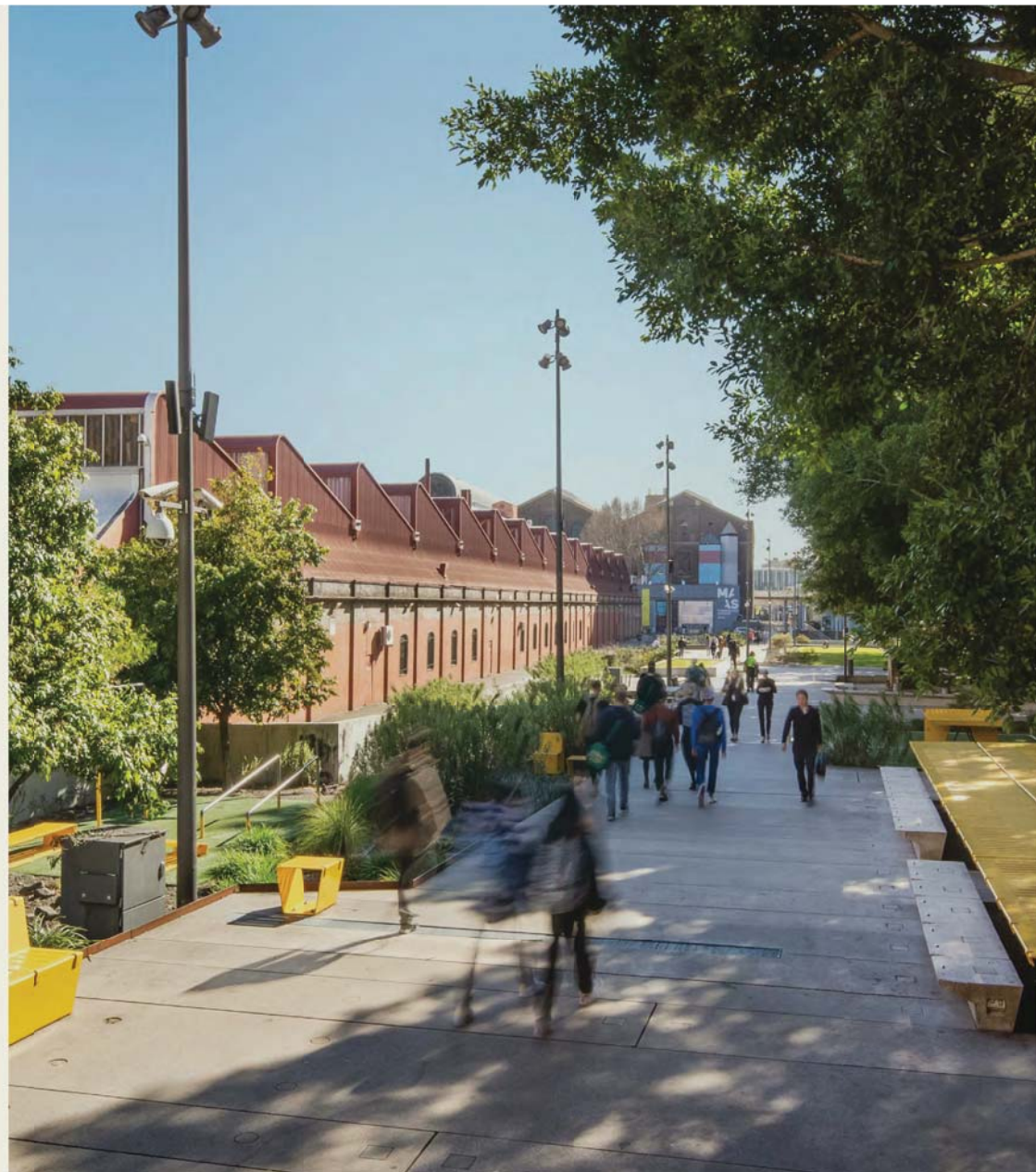
THE GOODS LINE

What it is

シドニーのセントラル駅から延びる「The Goods Line」は、古い鉄道を再利用した再開発プロジェクトとして2015年に完成しました。このエリアは、シドニーでも有名な教育機関、文化施設、ハイテクメディアの拠点に囲まれており、歩道や自転車道、公園、卓球台、屋外の作業スペースや遊び場などが整備された都市のハブへと生まれ変わりました。

Highlights

- 01 アート、パフォーマンス、お祭り、人とのつながりを享受することができる
- 02 使われなくなった鉄道線路の再利用
- 03 勉強や運動のできる環境設備
- 04 つながりを作る、より豊かな近隣住民関係とまち、という公共の場の役割
- 05 街と街、芸術、教育、文化施設を繋ぐことで市民生活を向上させ、孤立した都市を1つにまとめる



THE HIGH LINE

What it is

The High Lineは、ニューヨーク市の歴史的な高架鉄道を利用して作られたもので、単なる公園にとどまらず、庭園やアート展示、パフォーマンス、さまざまな飲食店が並び、友人や隣人と交流できる場所です。The High Lineは、周辺地域との持続可能な関係を築くために地元コミュニティと密接に連携し、公共空間の役割を再定義しています。

Highlights

- 01 つながりを作る、より豊かな近隣住民関係とまち、という公共の場の役割
- 02 使われなくなった鉄道線路の再利用
- 03 生態系の持続可能性
- 04 街の再生
- 05 アート、パフォーマンス、食事、人とのつながりを享受することができる



Challenges

チャレンジポイントについて

GUNMA PREFECTURAL OFFICE



Entrees should:

1

メインストリートを
公共交通と人中心の
道路空間に

Transform the main street
into a transit mall

2

主要交差点の再構築

Redesign the main intersection



CHALLENGES TO BE ADDRESSED

メインストリートを公共交通と人中心の道路空間に

TRANSFORM THE MAIN STREET INTO A TRANSIT MALL

街路樹が立ち並び、ほとんどの区間で広い歩道が整備されているにもかかわらず、メインストリートにはほとんど歩行者が見られません。これは、店舗や興味を引く場所が少ないためだと考えられます。そのため、前橋市の中心部を訪れたい人々の多くは、駅から徒歩10～15分の距離にもかかわらず、車を利用することを選びます。

群馬県は、このストリートを公共交通と人中心の道路空間に変えたいと考えており、人々が積極的に歩きたいとなる場所になることを目指しています。



様々な交通手段を取り入れる

INCORPORATE VARIOUS FORMS OF TRANSPORTATION

現在、メインストリートは4～6車線あり、歩行者よりも車両の交通が優先されています。交通量を削減するために、前橋市は2025年までに特定のバス路線でレベル4の自動運転を導入するプロジェクトを進めています。

そのため、本プロジェクトでは歩行者、自転車、車、バスの交通すべてを考慮する必要があります。



CHALLENGES TO BE ADDRESSED

主要交差点の再構築

REDESIGN THE MAIN INTERSECTION

現在、駅から県庁へ向かう道路とを結ぶ複雑な五差路があり、ドライバーは長い信号待ち時間に悩まされています。また、歩行者は渡るための唯一の手段である歩道橋はあるが、エレベーターがなく高齢者や身体不自由者に利用しづらい形状となっています。さらに、この交差点は、駅から中心部への歩行者の流れを妨げる要因にもなっています。そのため、地域住民はこの交差点を、誰もが安全に渡れるように再設計することを望んでいます。

Appendix

GUNMA PREFECTURAL OFFICE

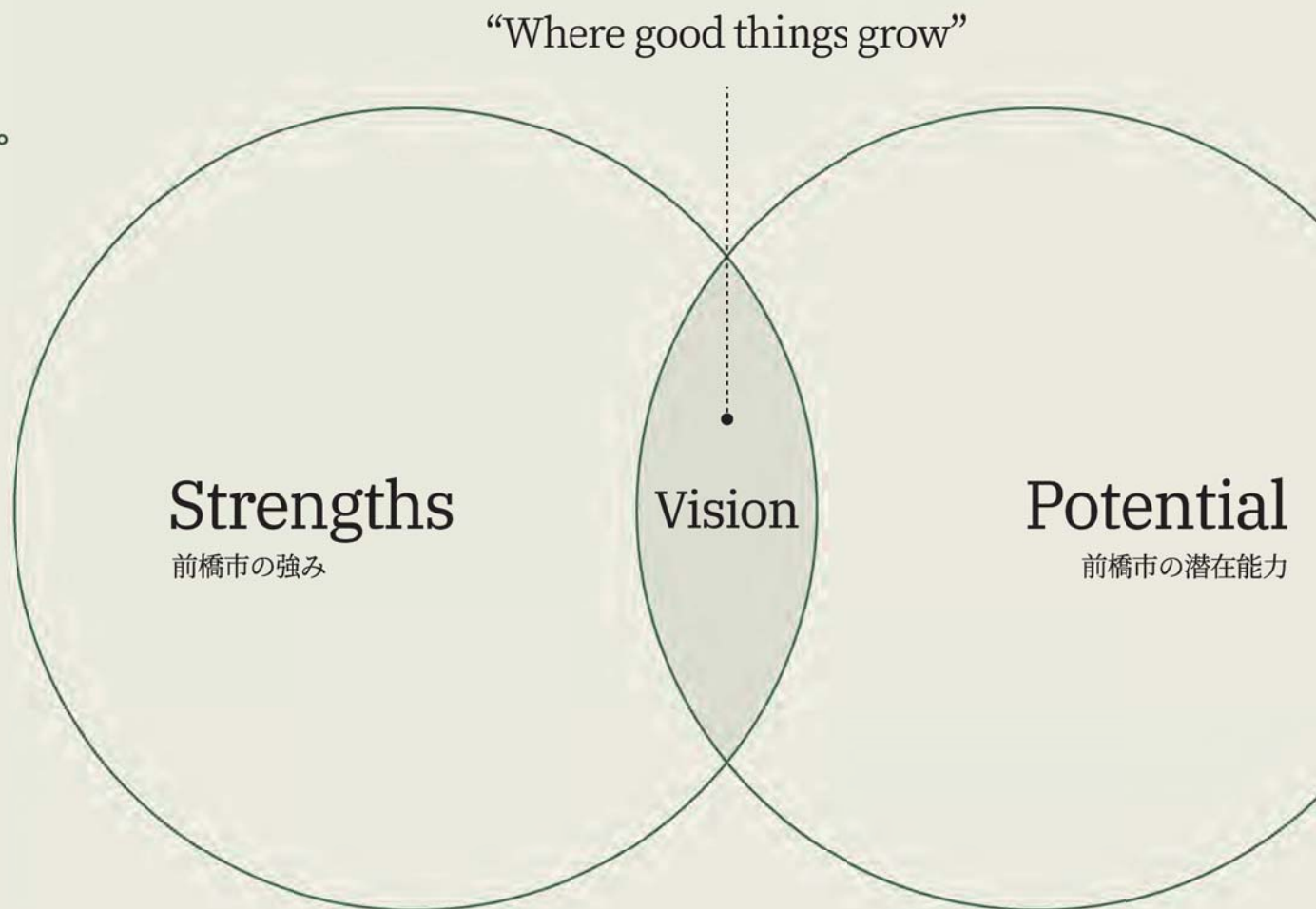


APPENDIX：前橋市ビジョン策定における背景

2016年に海外のコンサルティング会社と協力し、
前橋の強みと可能性を反映したビジョンを策定した。

前橋市のビジョンである“めぶく”の基となった“Where good things grow”は、前橋市の強みと潜在能力をそれぞれ言語化し、前橋市の可能性を模索して策定されました。

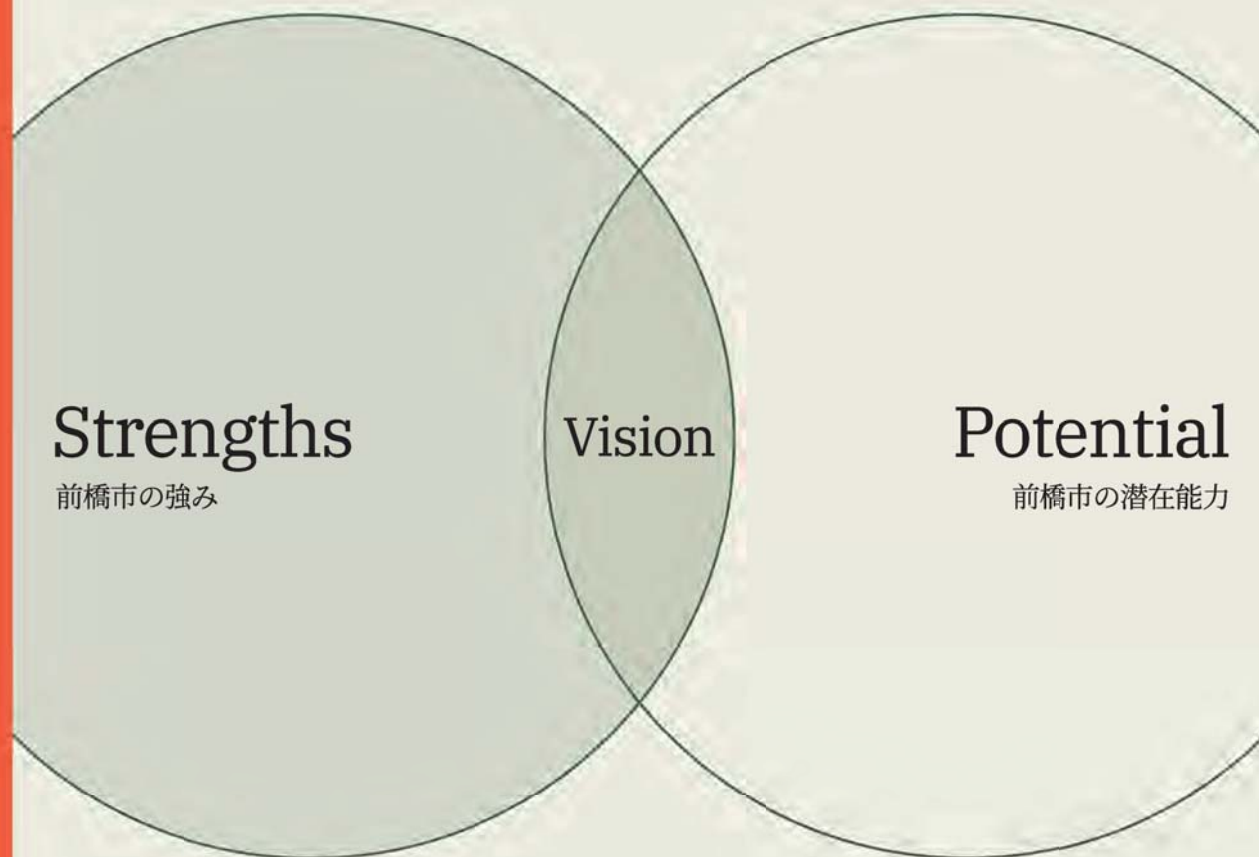
前橋市の強みと潜在能力の言語化されたキーワードは、次ページに掲載しています。



- ローカル
- 伝統
- 親切
- 責任感
- 思いやりのある
- 熟慮された
- リラックスできる
- 安全
- 協力的
- リアル
- 持続性
- 開放的
- 歓迎する姿勢
- 田舎
- 変化
- 気軽
- 触れることができる
- コミュニティ
- 礼儀正しい
- 控えめ
- 緑のある
- 落ち着き
- 中心
- 役に立つ
- 多様
- 素直
- 敬意に満ちた
- 具体的
- つつましい
- 集中
- コラボレーション
- 包括した

APPENDIX：前橋市ビジョン策定における背景

強みとして大切にすべき、前橋のさまざまな個性



- 先進性
- 現代的
- 望ましい
- 美しさ
- 規格外
- 魅力
- 新しさ
- フレッシュさ
- 重要性
- 緑
- 革革新的
- 壮観さ
- 国際性
- 具体性
- 機敏さ
- 魅了する
- 声の大きさ
- 誇張
- 若さ
- クリエイティブ
- 分別のある
- 活気のある
- 知的な
- 二酸化炭素を排出しない
- 前向き
- ポジティブ
- 楽しさ
- 集中
- 自然
- 整理整頓
- 傑出した
- サービス

APPENDIX：前橋市ビジョン策定における背景

特定して改善すべき、前橋市のポテンシャル

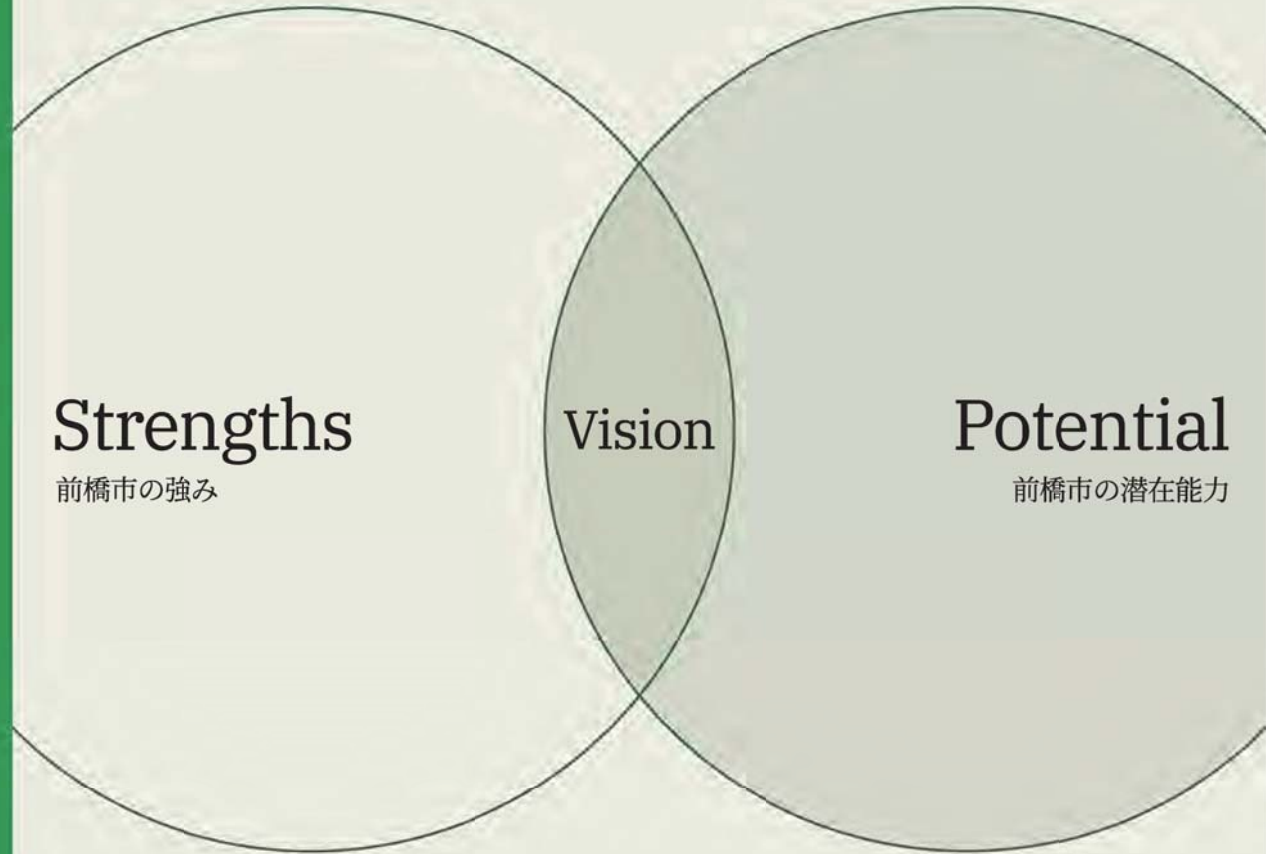
Strengths

前橋市の強み

Vision

Potential

前橋市の潜在能力



APPENDIX：前橋市ビジョン策定における背景

Visonを実現するために必要な3つの方針

前橋市の強みと潜在力を見てみると、多様な特徴が少しずつ存在している一方で、際立った個性が不足しているとも言えます。そのため、ビジョンを実現するためには、体感できる実体のあるコミュニティ、クリエイティビティを刺激する多様な体験、市民が参加できる持続可能な活動の3つが重要です。これらを通じて、前橋市はその潜在能力を最大限に引き出すことができるでしょう。

VISION

Where good things grow

VALUES

体感できるコミュニティ

Keyword：活発、協力的

クリエイティブな体験

Keyword：多様性、クリエイティブ

市民参加型の活動

Keyword：包括的、持続性